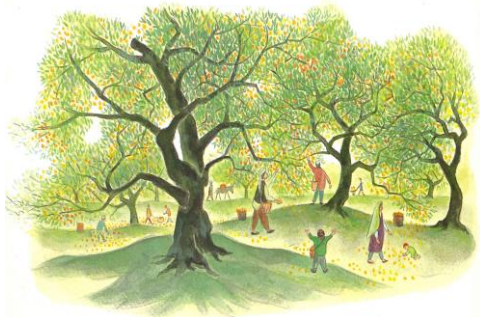


## 国際理解出前講座

# アフガニスタンを知って そして忘れないで!



7月15日(水)、置塩中学校から依頼を受け、全校生を対象にした国際理解出前講座を実施しました。講師は、アフガニスタンの地雷被害者に義手義足を届ける活動をしている春木信韻<sup>のぶあき</sup>さんです。

春木さんは、ボランティアでアフガニスタンに十数回渡航し、地雷で手足をなくした方々に直接会って型をとり、日本でリサイクルの義手義足を加工して再度現地に届けるという活動をして来られました。

講座では、まずアフガニスタンの自然や街並みの様子が紹介されました。小学校の国語の教科書の「世界一美しいぼくの村」でも描かれていた、アフガニスタンの自然や人々の暮らしぶりがとてもよくわかりました。

次に、現地で実際に義手義足の型どりをしている様子や、実際に装具をつけてリハビリしている様子が、紹介されました。「義手義足は、1回作れば終わりではない。成長に合わせて支援が必要」「歩けるようになることで、希望が持てる。義手義足の支援は、希望と笑顔を届けるもの」といった言葉が印象的でした。

あまり普段の生活の中ではなじみがない国での国際協力の話でしたが、生徒の皆さんは、熱心に聴講していました。



### ～聴講後の感想文から～

- ・自分の命の危険もあるのに、地雷をとる作業をしている人たちがいることを知り、すごいと思った。
- ・将来、ボランティアで困っている人を助けられるようになりたい。
- ・足や手がなくても笑顔の子がいて、すごいなと思った。